

2021年1月29日

2020年度聖路加国際大学大学院看護学研究科
課題研究

論文題目

中学校の教員が精神的な問題を抱えている生徒へ行う対応と

課題に関する文献レビュー

A Literature Review of The Support That Junior High School
Teachers Provide to Students with Mental Problems And
The Issues to Be Resolved in Support

19MN019

玉城慶子

目的

中学校の教員が精神的な問題を抱えている生徒へ行う対応と対応する際に生じる課題を明らかにし、中学校の教員が精神的な問題を抱えている生徒に対応する際の教員や養護教諭、学校の役割について考察する。

方法

医中誌 Web や CiNii、PubMed、ERIC において「教員」「中学生」「精神疾患」「メンタルヘルス」「自傷行為」「自殺企図」などのキーワードを用いて検索し、文献内の中学校教員が精神的な問題を抱えている生徒へ行う対応や課題に関する記述からコードを抽出し、カテゴリー、サブカテゴリーを生成した。

結果

対象文献は国内文献 16 件、海外文献 1 件の計 17 件であった。

精神的な問題を抱えている生徒に対する教員の対応はカテゴリーが 7 つあり、【集団の中から精神的な問題を抱えている生徒を発見する】【教員個人で対応方法を検討する】、【教員が精神的な問題を抱えている生徒を個別に支援する】【精神的な問題を抱えていない生徒にも配慮する】【学校内で連携する】【外部機関と連携する】【保護者と連携する】であった。発達障害を抱えている生徒に対する教員の対応の特徴として<養護教諭から対応に関して助言される><巡回相談員の支援を得る>などのサブカテゴリーが挙げられた。自傷行為を行う生徒に対する教員の対応の特徴として<生徒の精神的な問題の改善を図る><他の生徒への影響を懸念する>などのサブカテゴリーが挙げられた。

教員が精神的な問題を抱えている生徒に対応する際に生じる課題はカテゴリーが 6 つあり、【教員の対応力が不十分な場合がある】【教員に精神的な負担が生じる】【学校内で組織的に支援する体制が十分に構築できていない】【学校や教員だけでは対応に限界がある】【保護者との信頼関係が築けていない場合がある】【専門機関との連携が難しい】であった。発達障害を抱えている生徒に対応する際に生じる課題の特徴として<教員の理解が不十分である><生徒の言動に対し対応に困っている>などのサブカテゴリーが挙げられた。自傷行為を行う生徒に対応する際に生じる課題の特徴として<対応方法がわからない><教員には対応が負担になっている>などのサブカテゴリーが挙げられた。

結論

教員は精神的な問題を抱えている生徒を発見し、他教職員や外部機関等と連携しつつ、生徒自身や他の生徒に対応しているが、対応力が不十分な場合があり、教員の対応力を向上させることが大切である。養護教諭は精神的な問題を抱えている生徒の対応を行う教員を支援する際には、研修などを行うことが求められる。また、学校内で組織的に支援する体制が十分に構築できていないため、学校は管理職が学校内の連携と外部との連携を働きかけるなど組織的に支援する体制を構築することが求められる。